

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公表番号】特表 2003-503437(P2003-503437A)

【公表日】平成 15 年 1 月 28 日 (2003.1.28)

【出願番号】特願 2001-507432(P2001-507432)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

A 6 1 Q 5/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/08

A 6 1 K 7/075

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

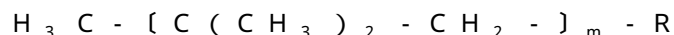
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 水性媒体中に、(i) 高分子量炭化水素材料の乳化粒子と、(ii) 数平均分子量 200 ~ 500 を有する炭化水素油、周囲温度で $3 \text{ m}^2 / \text{s}$ 以下の粘度を有する脂肪エステル、およびそれらの混合物から選択される頭髮コンディショニング用油脂材料とを含む頭髮トリートメント組成物であって、ここで (i) 対 (ii) の重量比が 1 : 10 ~ 1 : 1 の範囲内にある、前記組成物。

【請求項 2】 脂肪エステルがグリセロールのモノ - 、ジ - 、およびトリ - エステルからなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】 炭化水素材料 (i) がベルアルキル (アルケニル) 炭化水素樹脂であることを特徴とする、請求項 1 または請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】 ベルアルキル (アルケニル) 炭化水素樹脂が式：



〔式中、m は 1 - 5000、好ましくは 2 - 2500 であり、R は $-\text{CH}(\text{CH}_3)_2$ または $-\text{C}(\text{CH}_3)=\text{CH}_2$ である〕のポリイソブチレン材料であることを特徴とする、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】 1 種または複数の洗浄用界面活性剤を含む頭髮シャンプー組成物であることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】 更に、カチオン性多糖ポリマー、カチオン性デンプン誘導体、カチオン性グアー誘導体及びカチオン性ポリアクリルアミドからなる群から選択されるカチオン性ポリマーである付着助剤を約 0.01 - 約 5 重量% 含むことを特徴とする請求項 5 に記載の組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

適当な頭髮コンディショニング用油脂材料は一般に、周囲温度で約 $3 \text{ m}^2 / \text{s}$ (3, 0

00, 000 cst) 以下、好ましくは約 $2 \text{ m}^2 / \text{s}$ (2, 000, 000 cst) 以下、より好ましくは約 $1.5 \text{ m}^2 / \text{s}$ (1, 500, 000 cst) 以下の粘度を有している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

本発明に使用される適当なアルキルポリグリコシドは市販されており、例えば、Sep pic製のOramix (商標) NS10、Henkel製のPlantaren (商標) 1200及びPlantaren (商標) 2000などの名称の材料がある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0071

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0071】

本発明の頭髮コンディショナーに使用され得る適当なカチオン性界面活性剤は、セチルトリメチルアンモニウムクロリド、ベヘニルトリメチルアンモニウムクロリド、セチルピリジニウムクロリド、テトラメチルアンモニウムクロリド、テトラエチルアンモニウムクロリド、オクチルトリメチルアンモニウムクロリド、ドデシルトリメチルアンモニウムクロリド、ヘキサデシルトリメチルアンモニウムクロリド、オクチルジメチルベンジルアンモニウムクロリド、デシルジメチルベンジルアンモニウムクロリド、ステアリルジメチルベンジルアンモニウムクロリド、ジドデシルジメチルアンモニウムクロリド、ジオクタデシルジメチルアンモニウムクロリド、タロウトリメチルアンモニウムクロリド、ココトリメチルアンモニウムクロリド及び対応するそれらの水酸化物である。別の適当なカチオン性界面活性剤としては、CTFA名称でクアテルニウム - 5、クアテルニウム - 31及びクアテルニウム - 18と呼ばれている材料がある。上記材料のいずれかの混合物も適当である。本発明の頭髮コンディショナーに使用するための特に有用なカチオン性界面活性剤は、例えばHenkelからDEHYQUART (商標) として市販されているようなセチルトリメチルアンモニウムクロリドである。